

様式第 9

循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
名張市	名張市	令和2年度～令和2年度	令和2年度～令和2年度

1 目標の達成状況
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※1) (令和 年度)	目標 (割合※1) (令和 年度) A	実績 (割合※1) (令和 年度) B	実績/目 標※2	
排出量	事業系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 事業所当たりの排出量	t	t (%)	t (%)	%
	家庭系 総排出量	t	t (%)	t (%)	%
	1 人当たりの排出量	kg/人	kg/人 (%)	kg/人 (%)	%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	t	t (%)	t (%)	%	
再生利用量	直接資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
	総資源化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	MWh	MWh	MWh	
減量化量	中間処理による減量化量	t (%)	t (%)	t (%)	%
最終処分量	埋立最終処分量	t (%)	t (%)	t (%)	%

※1 排出量は現状に対する増減割合、直接資源化量・埋立最終処分量は排出量に対する割合、総資源化量は排出量+集団回収量に対する割合を記載。

※2 排出量は実績の割合/目標の割合を記載。再生利用量・最終処分量については、(実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載。

(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成30年度)	目 標 (令和2年度) A	実 績 (令和2年度) B	実績/目 標※3	
総人口	77,521人	75,523人	77,250人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	27,077人	27,265人	44,900人	164.7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	34.9%	36.1%	58.1%	1933.3%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	8,745人	8,535人	9,559人	112.0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	11.3%	11.3%	12.4%	—%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	37,903人	36,549人	22,178人	60.7%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	48.9%	48.4%	28.7%	4040.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	3,796人	3,174人	613人	19.3%

※3 (実績の割合-現状の割合) / (目標の割合-現状の割合) を記載

2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの						
処理体制の構築、変更に関するもの						
処理施設の整備に関するもの	ー	浄化槽設置整備事業	名張市	生活排水による公共用水域の水質汚濁の防止及び公衆衛生の向上を目的とし、国庫補助指針に適合した小型浄化槽を整備する。	R2～R2	事業実施 5人槽:4基 7人槽:4基 計8基
施設整備に係る計画支援に関するもの						
その他						

3 目標の達成状況に関する評価

【生活排水処理】

公共下水道の計画策定時の令和2年度目標数値 中央処理区 27,265人、南部処理区 0人に対し、令和2年度実績は、中央処理区 26,693人、南部処理区 18,207人の計44,900人となっています。その結果、目標と実績の汚水衛生処理人口に大きな差が生じました。公共下水道について、中央処理区は令和2年度までに公共下水道へ移管を予定していた住宅地（令和2年度末時点接続人口約1,400人）が、汚水処理施設の管理者と地域住民との協議が整わなかったことから、僅かに未達成となっていますが、南部処理区は、大型住宅地の合併処理浄化槽等の公共下水道化が進んだことから、公共下水道全体としては目標を達成しています。合併処理浄化槽等について、計画策定時の令和2年度目標数値 36,549人に対し、令和2年度実績が、22,178人となっていますが、これは令和2年度目標数値策定時に、南部処理区の4つの住宅地汚水処理施設（令和2年度末時点接続人口約17,500人）が、合併処理浄化槽等に計上されていたものが、令和2年度の実績で、公共下水道へ位置付けられたためです。集落排水処理施設等について、比奈知地区の農業集落排水が計画どおり平成30年10月から供用開始となり、総人口の減少が目標設定時の想定より緩やかなこともあり、令和2年度目標数値8,535人に対し、令和2年度実績は9,559人と目標を達成しています。全般的な評価としては、未処理人口が減少していることから、目標を達成していると考えております。

(都道府県知事の所見)

今後も未処理人口の更なる減少に取り組まれることを期待します